



2026年8月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ラ ン デ ィ ー ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 亀 井 浩
(コード番号: 3261 東証グロス、福証 Q-Board)
問 合 せ 先 管理部マネージャー 伊 藤 慶 樹
(TEL. 097-548-6700)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年12月期第2四半期(2026年1月1日～2026年6月30日)において2026年2月10日に公表いたしました連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2026年1月1日～6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 又は純損失	1株当たり 当期純利益 又は純損失
前回発表予想(A)	百万円 1,500	百万円 60	百万円 45	百万円 30	円 銭 7.32
実 績 値 (B)	1,450	15	8	20	5.08
増 減 額 (B - A)	△49	△44	△36	△9	△2.24
増 減 率 (%)	△3.3	△74.7	△80.5	△30.6	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2025年12月期 第2四半期)	1,449	△61	△60	△75	△18.46

2. 差異の理由

当社グループにおきましては、関東エリアを中心に建築請負事業及び土地売買が堅調に推移するとともに、投資用不動産の販売を進める等、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。不動産販売事業において、ナフサショックの影響で建売住宅の利益率が低下したうえ、販売が低調となったものの、保有資産の有効活用及び資産効率の向上を目的として固定資産の売却を実施する等、各施策を着実に推進いたしました。底堅い需要のある投資用不動産において、保有している原価上昇前に竣工した案件の販売に注力することにより、収益性の改善を図ってまいります。

なお、2026年12月期通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

以 上